

平成28年度省エネ大賞を発表

(一社)省エネルギーセンター

平成28年度省エネ大賞の受賞結果を公表した。同賞は、国内の企業・自治体・教育機関などが推進する、省エネ活動の事例や、省エネ性に優れた製品、およびビジネスモデルを表彰するもの。審査の結果、省エネ事例部門25件、製品・ビジネスモデル部門25件の受賞を決定した。

住宅関連企業では、製品・ビジネスモデル部門の経済産業大臣賞(製品(家庭)分野)を、パナソニックアプライアンス社の家庭用ルームエアコン「ダブル温度・同時吹き分け気流システム搭載」WXシリーズが受賞。人の温冷感を感じし、必要な人に必要な温度

現場発泡断熱材に対応した屋根用下地通気部材を開発

オスワーク

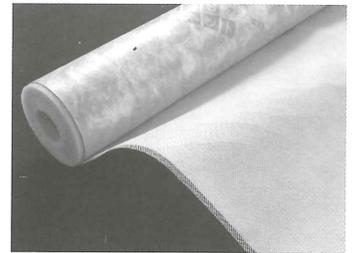
ウレタンフォーム発泡断熱

の気流を届ける機能を搭載し省エネ性と快適性の両立を図った点などが高く評価された。

そのほか、製品・ビジネスモデル部門の資源エネルギー庁長官賞(製品(建築)分野)を、YKK APの窓リフォーム「かんだんマドリモ」、中小企業庁長官賞を金子建築工業の「土塗り壁高断熱木造住宅」ZETH(Zero Energy Timber House)が受賞した。省エネルギーセンター会長賞には、LIXILの「充填付加断熱工法(SUPER WALL DUAL)」を用いた住宅づくりサポートシステム」が選出された。

材専用の屋根用下地通気部材「ABSSエアネット」の販売を開始した。

この商品は、屋根の垂木下、



ABSSに特殊ネットを貼り合わせたABSSエアネット(写真上)。母屋間へ現場発泡断熱材を吹き付け施工する際に用いる(写真左)



母屋間に現場発泡断熱材を吹き付け施工する際に用いるもの。一般的な透湿・防水シートを屋根用下地通気部材として用いると、発泡断熱材の膨張により通気層を塞いでしまいう懸念があるが、ABSSエアネットでは、遮熱性を持たせた透湿・防水シート「ABSS」と、特殊樹脂ネットを貼り合わせることで、発泡断熱材のシートへの密着性、シート自体の強度を高めた。これにより発泡断熱材の膨張により通気層を塞ぐ懸念を解消。確実に通気層を確保できるようにした。

また、遮熱性を持たせた透湿・防水シートが、屋外からの赤外線を約80%反射し、輻射熱を遮るほか、断熱材へ蓄熱を抑え、断熱性能を最大限引き出す効果が期待できる。透湿性能、防水性能も発揮する。

製品の寸法は幅1000mm×長さ10m。定価は1本当たり1万8000円。

2つのコンテストの優秀作品を発表

(公社)インテリア産業協会

平成28年度の「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」と「キッチン空間アイデアコンテスト」の優秀作品を発表した。

「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」は、インテリアコーディネーターの技能向上と生活者に対する

するインテリアコーディネーションの関心を高めることを目的に毎年開催しているデザインコンテスト。事例分野と課題分野の2つのテーマで作品を募集。今回は379作品の応募があった。

最優秀賞である経済産業大臣賞は、株式会社Y+M design officeの三宅正浩さんの作品「北庭の家」が受賞した。

「キッチン空間アイデアコンテスト」は、キッチンへの生活者の興味や関心の向上、使いやすい快適なキッチン空間の普及を目指し、キッチン空間に関するアイデアを込めた作品を募集するもの。今回は「こんな人に、こんなキッチンを伝えたい」をテーマに作品を募集し、338作品の応募があった。

最優秀作品であるインテリア産業協会会長賞には、スペースデザインカレッジ東京校の学生、加賀山加奈子さんの「団らんキッチン空間」が輝いた。なお、コンテストの受賞作品など同協会のWebで公開している。

平成28年度コンテスト



経済産業大臣賞を受賞した三宅正浩さん(右)